

CM-200M-USB

かんたんガイド

Ver.G

株式会社エイポック

www.a-poc.co.jp

TEL 045-508-5201

■付属品がすべてそろっていることを確認してください。

- CM-200M-USB (本製品)
- USB ケーブル
- ストラップ
- かんたんガイド(本書)

■本製品の特徴

- ・バーコードの読み取りと蓄積ができます(JAN13 で 4,600 件)。
- ・蓄積データを USB 経由でパソコンに転送することができます。
- ・読み取りをバイブレータ(振動)で確認できます。

▼別途ご用意下さい

- ・本製品を充電するため、USB ポートがあるパソコンが必要です。

■取扱説明書はホームページ上での配布となります

ホームページからダウンロードしてお読み下さい。
一部の配布物は下記のユーザー名とパスワードが必要です。

【ダウンロード】

www.a-poc.co.jp

【ユーザー専用ページ(一部資料のダウンロード)】

www.a-poc.co.jp/dl2/

ユーザー名とパスワードはご購入のかんたんガイドに記載

取り扱い上の注意

ご使用前に、取扱説明書の取り扱い上の注意を必ずお読み下さい。
本製品の取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障・不具合およびパソコンの故障・不具合やデータの消失・破損は弊社の保証対象には含まれず、その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

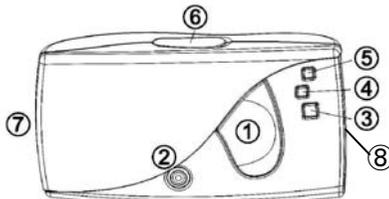
電池の注意

本製品は、リチウムポリマー電池を内蔵しています。
◆電池の液が漏れたときは、液に触れないで下さい。◆濡らしたり、水などの液体の中に入れてたりしないで下さい。◆電池は定期的に充電して下さい(月 1 回程)。長期間放置すると劣化します。◆満充電になったらケーブルを外して充電を中止して下さい。◆電池は寿命があります。十分に充電できなくなったら、弊社に有償修理をご依頼下さい。

レーザーの注意

本製品は、IEC825 Class1 レーザー製品に準拠した製品です。製品の目的どおりに使用した場合は危険がないとみなされています。
■ご使用になるときは、次の点に注意して下さい。
◆正面の窓をのぞき込まないで下さい。
正面の窓からレーザー光が出ます。目に障害を与える危険性があります。
◆人の目にレーザー光を向けしないで下さい。
目がくらむなど障害を与える危険性があります。
●製品の仕様、本書の内容については改良のため予告なく変更する場合があります。
●本製品はすべての機器との接続を保証するものではありません。
●本書に記載された他社製品名は各社の商標または登録商標です。
●本書の一部または全部を無断で複製および転載することを禁じます。

1 各部の名称と意味



① スキャンキー	押す→バーコード読み取り
② 消去キー	USB 接続時に長押し→蓄積データ転送 USB から取り外し長押し→蓄積データ消去
③ 読取通知/その他 LED (緑/オレンジ)	緑→USB で読み取り オレンジ→メモリで読み取り
④ パワー通知 LED (赤)	USB 接続時 : 点灯→充電中 2秒間隔の点滅→充電完了 単独使用時 : 高速点滅→バッテリー少ない (あと 60 回読み取り)
⑤ 予備 LED	未使用
⑥ USB ポート	USB ケーブルを接続
⑦ ストラップ穴	ストラップ取り付け穴
⑧ 読取窓	レーザーを投光

2 セットアップ - 初めて使うときに行うこと

本製品とパソコンを付属の USB ケーブルで接続して下さい。
自動で USB ドライバをインストールしセットアップが完了します。

3 充電して下さい - ご購入直後は電池残量が減っています

本製品を USB ケーブルでパソコンと接続すると充電します。
・赤 LED (1-③) が点灯→充電中です。
・赤 LED が 2 秒間隔の点滅→満充電です。
※ご購入直後は充電後の使用を推奨いたします。
※はじめて使うときは満充電するまで 1.5 時間ほどかかります。
※パソコンまたは USB AC 充電器(5VDC, 1A 以上)で充電して下さい。
タブレットやその他の方法で充電した場合、適切に充電できず本製品のバッテリーを痛める恐れがあります。
●充電中に赤のランプが高速で点滅していたら本製品に異常があります。すぐに USB ケーブルを外して使用を中止し、修理をご依頼下さい。

4 バーコードの読み取り方

スキャンキー(1-①)を押し、読取窓(1-⑧)から出るレーザーをバーコードに水平に向け、バーコードの左右からはみ出るようにかざすと読み取ります。



○良い例

×悪い例

5 使い方

本製品は「USB ケーブル式スキャナ」と「メモリースキャナ」の 2 通りの使い方ができます。

USB ケーブル式スキャナ

◆使い方

- 1) 本製品とパソコンを USB ケーブルで接続して下さい。
- 2) パソコンのソフト(Excel など)を立ち上げ、バーコードデータをを入力する場所にカーソルを合わせて下さい。
- 3) バーコードを 1 回読み取るごとに、データを転送します。

メモリースキャナ

◆使い方

- 1) 本製品から USB ケーブルを取り外して下さい。
- 2) バーコードを読み取ると、本製品にデータを蓄積します。

◆パソコンへの蓄積データの転送方法

- 1) 本製品とパソコンを USB ケーブルで接続して下さい。
- 2) パソコンのソフト(Excel など)を立ち上げ、バーコードデータを転送する場所にカーソルを合わせて下さい。
- 3) **消去キー**(1-②)をブザーが鳴るまで長押しして下さい(3 秒)。蓄積データを転送します。

●転送した後も、本製品に蓄積データが残っています。

◆蓄積データの消去方法

- 1) 本製品から USB ケーブルを取り外して下さい。
- 2) **消去キー**(1-②)をブザーが鳴るまで長押しして下さい(8 秒)。すべての蓄積データを消去します。

◆1 件消去する

本製品がメモリースキャナるとき、**消去キー**(1-②)を押しながらバーコードを読み取ると、蓄積したデータからそのバーコードデータを 1 件消去します。

6 動作の設定

本製品はバーコードメニュー(本書 p5~6)を読み取ることで、動作を変更することができます。

◆設定の方法

- 1) **設定開始**を読み取ります。
 - 2) 設定する内容の**バーコードメニュー**を読み取ります。
内容によっては、複数のメニューを読み取ります。
 - 3) **設定終了**を読み取ります。
- 設定ソフトを使い、パソコンから設定することもできます。詳細は CD 収録の設定ソフト説明書をお読み下さい。

7 困ったときは

Q:ITF(Interleaved2of5)を読み取りできない

A:設定開始→[TF許可]→設定終了を設定して下さい

Q:日時の : が+になる、読み取りデータの記号が正しく入力しない

A:設定開始→キーボードレイアウト日本→設定終了を設定して下さい

Q:日時の設定をしたい

A:設定開始→時計の設定→数字→セット→設定終了

●2018/07/21 15:30 を設定するときの数字は 1,8,0,7,2,1,1,5,3,0 です

Q:蓄積データ転送時の日付、時刻、データを Tab 区切りにしたい

A:設定開始→セパレータ→0→0→セット→設定終了を設定して下さい

Q:二度読みを防止したい

A:設定開始→同一読み取り禁止 許可→設定終了を設定して下さい

Q:転送すると改行しない、データが横につながって出る

A:パソコンのタスクバーなどに「あ 般」と表示していたら「あ」をクリックし「半角英数」を設定して下さい(PCにより異なります)

Q:Excel に転送すると E+12 などと表示する、最初の 0 が消える

A:Excel でデータを入力する列を選択→右クリック→セルの書式設定→表示形式→文字列→OK を設定してください

8 主な仕様

読み取り バーコード	JAN/EAN/UPC ,Code 39, Interleaved2of5 (ITF), Codabar(NW7),Code 128, GS1 Databar (RSS)他
スキャン エンジン	半導体レーザー650nm,100 スキャン/秒 最小分解能:0.125mm, PCS:0.45 読取深度: 50~190mm(細バー0.25mm,PCS0.9)
プロセッサ	32bits CPU
蓄積件数	4,600 件(JAN13 で)
バッテリー	リチウムポリマーバッテリー 3.7V ,420mAh 満充電から 23,000 スキャン動作(バイブレーションオフ)
インターフェース	USB (HID キーボード,USB バーチャル COM)
キー	2(スキャンキー,消去キー)
通知	LED:3 色 , ブザー(音量 10 段階),バイブレーション
付帯機能	時計機能(年月日時刻付きでデータ転送可能)
動作温度/湿度	-10℃~+40℃/10%-90%RH(結露なきこと)
寸法	(L x W x H) 68 x 37 x 22 mm
重量	38g(内蔵バッテリー含む)
EMC/環境	FCC / CE / VCCI クラス B/ RoHS 準拠
動作確認 OS	Windows 10(32bit,64bit)8,7,XP(SP2 以上)
保証期間	1 年間(バッテリー,ケーブルは除く)

●詳しい情報はホームページでご確認下さい

9 バーコードメニュー

●*の項目は出荷時の設定です。取扱説明書をお読み下さい。

●本書 p6 に英数設定バーコードがあります。



◆USB スキャナ/メモリスキャナ共通設定



キーボードレイアウト

*US(英語 PC に接続)

日本(日本語 PC に接続)



ITF(Interleaved2of5)読み取り

*禁止(読み取らない)

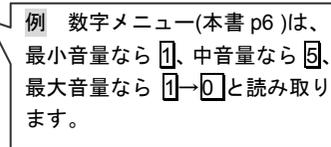
許可(読み取る)



ブザーの音量

続けて、p6 の数字メニュー①~⑩

→セット→設定終了(出荷時は 10)



例 数字メニュー(本書 p6)は、
最小音量なら ①、中音量なら ⑥、
最大音量なら ①→⑩と読み取ります。

◆メモリスキャナ専用設定 →ケーブルを外したときの動作です



バイブレーション

*禁止(振動しない)

許可(振動する)



同一読み取り禁止(二度読み防止)

*禁止(同じデータでも読む)

許可(同じデータは読み取らない)

◆蓄積データを転送するときの設定



ヘッダ/フッタ転送

禁止(転送しない)

*許可(転送する)



年月日時分秒の転送

禁止(転送しない)

*許可(転送する)

●ヘッダ/フッタとはデータ前の<Memory>とデータ後の<End>です



セパレータを Tab にする

続けて、p6 の数字メニュー①→⑩

→セット→設定終了



時計の設定(時刻あわせ)

続けて、p6 の数字メニュー数字→

セット→設定終了

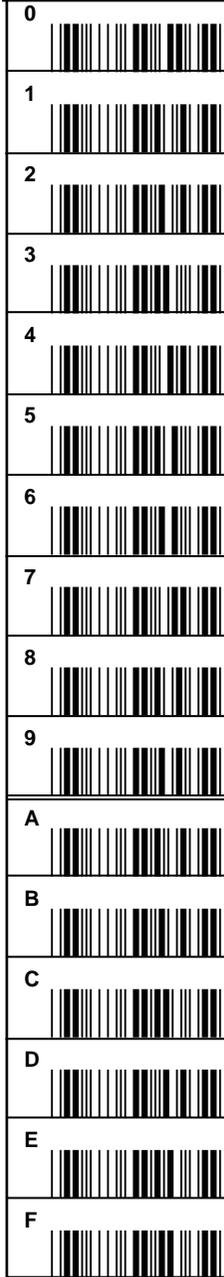
●セパレータを出荷時のスペースに戻すには数字を ②→⑩で設定して下さい

●時計の設定について:2018/07/21 15:30 に設定する英数メニュー(本書 p6)は、1,8,0,7,2,1,1,5,3,0 と読み取ります(形式:YYMMDDhhmm)



設定終了

英数設定バーコード



◆英数メニューについて

このメニューを読み取った後は、必ず[セット]を読み取り、続けて[設定終了]を読み取って下さい。

◆初期化



設定開始→初期化を読みとスキャナを出荷時の設定に戻します。時計の設定と蓄積データは消えずに残っています。

10 保証と修理

◆保証について

保証期間内に、正しい使用状態のもとで故障した場合、弊社に修理をご依頼いただくことで無償保証の適用を受けることができます。

保証期間内であっても、次の場合は保証適用外となり、有償修理となります。
・誤った取り扱い、落下、災害、分解、改造など外的な原因による故障
・消耗品(バッテリー、ケーブル)の交換

◆保証期間

1 年間

◆修理について

故障と思われる症状が生じた場合、説明書をお読みいただき正しく設定・接続しているか確認して下さい。または弊社にお問い合わせください。

修理をご依頼の場合、ホームページ掲載の修理依頼書を印刷し、必要事項をご記入の上、製品に添付し、送料はお客様ご負担の上、弊社にお送りください。

◆お問い合わせ先

www.a-poc.co.jp

11 バーコードサンプル

動作確認などにご使用下さい。



セット

コードタイプ Code 39



12AB